



あいさつは大事？

「おはようございます。」「おはよう。」「おはー。」など、あいさつをする相手やその場面によって、あいさつの言葉や仕方、声のトーンなど人それぞれで違いがあります。また、あいさつするときは、必ずあいさつする相手がいます。ですから、あいさつをすればそれでよい、とまらないこともあります。

「何だ！今のあいさつは。」「大きな声であいさつしなさい。」など、そのあいさつが原因で、争いになることもあります。そうすると、あいさつした方も、あいさつされた方も、折角あいさつをしたのにどちらも気分を害してしまうこととなります。その後気分が晴れず、何をするにも気持ちが乗らず過ごすことになったり、相手との間で気まずい空気感がでたりすることとなります。

人によって、良いあいさつの基準が違うのです。大きな声であいさつすることが良いあいさつだと考える人もいます。丁寧にあいさつすることが良いあいさつだと考える人もいます。

ある国では、相手が銃で自分のことを襲わないかをお互い確認することから始まったと言われていたあいさつもあります。あいさつは、何かを確認することが目的となることもあります。

また、あいさつの仕方いろいろあります。畏まってするあいさつ、気軽にするあいさつ、ルーティンとするあいさつ、儀式的なあいさつ、ルールに基づいてするあいさつなど・・・。

では、私たちはどのようなあいさつに心がければよいのでしょうか。

一人一人違いがあるのですから、これが正しいあいさつというのはないのでしょうか。百人いれば百通りのあいさつがあるのです。ただ、すべての人に共通することは、あいさつには相手がいるということです。家族や友達、先生、地域の人などはもちろんですが、ぬいぐるみや一緒に生活している犬や猫、車やバイクなどの所有物にあいさつすることもあります。

大事なのは、あいさつするときに相手を思いやることだと思います。

自分も相手もお互いに気持ちよくなれるあいさつ、元気が湧いてくるあいさつ、やる気が出てくるあいさつなどを、心がけてはどうでしょうか。

<第1回学校運営協議会から>

5月7日（木）、第1回学校運営協議会において、学校経営や日頃の生徒の様子などを説明し、ご意見をいただきました。委員の皆様から、挨拶がしっかりできているなど生徒の様子を褒めていただきました。また、地域との繋がりを大切にすることや道徳教育・人権教育によるこころの育成に取り組むこと、熊などの出没も含めて登下校の安全確保に取り組むことの要望がありました。

学校では、ご意見を参考に、生徒の充実した学校生活に取り組んでいきたいと考えております。

<お知らせ①>

【6月からの服装について】

熱中症防止のため、6月1日以降、当面の間は体操服登校も可とします。ただし、対外的行事などでは、制服での参加としますので、ご了承ください。

<お知らせ②>

【全市一斉学校公開週間について】

「全市一斉公開週間」の期間中、8日（月）～12日（金）を学校公開日とし、毎日2限～4限の授業を自由に参観いただくこととしています。是非、子ども達の活動の様子をご覧ください。